

豊岡きょういく

Education in Toyooka vol.51



イラスト 成田壽郎 教育委員

2022年6月20日発行 編集/豊岡市教育委員会 (TEL 0796-23-1117 FAX 0796-24-4669) <http://www.city.toyooka.lg.jp>

非認知能力(やり抜く力・自制心・協働性)すべての項目でプラスの変化 ～演劇ワークショップ全市展開へ(小学校1年生)～

【問合せ こども教育課 TEL22-1880】

演劇ワークショップの教育効果は

〈非認知能力向上事業検証会議より〉

〔方法〕・児童へのアンケート調査

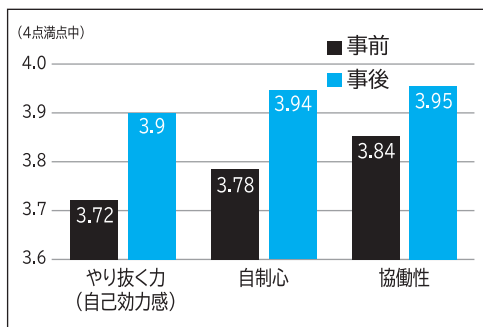
・児童の振り返りや※ファシリテーター、担任への聞き取り

その結果、「すべての項目において、演劇ワークショップ後に
プラスの変化があった」ことが明らかになりました。

本年度より、市内すべての小学校1年生で「演劇ワークショップ」
を行います。

※ファシリテーター…教える-教わるのではなく、子どもが自分で気づき、学ぶように働きかけるワークショップの進行役

「演劇ワークショップ」前後の比較 2022年1月



～参加した児童の声～



◇友だちといろんなことを話せました。ジェスチャーゲームが楽しかったです。次は、もっと大きな声を出したいし、いろんなことを考えたいです。

◇僕がワークショップで成長したことは、2年生が困っている時に助けたり、声をかけられるようになったりしたことです。2年生の子がうれしそうにして僕までうれしくなりました。

◀「どうぶつえん」というお題で、チームでジェスチャーを創作し、発表している場面(虎にエサをあげるシーン)

◇ワークショップで、初めてみんなの前で発表する時失敗したらどうしようと緊張したけど、3年間やっていくと緊張することがなくなってきました。

◇発表するのが苦手だったけど、最後はみんなの前で発表できるようになったことがうれしかったです。話し合いの中で自分の意見も言えるようになりました。



ジェスチャー創作の段階で、2チームがお互いの途中成果を見せ合い、よりブラッシュアップするために相手チームの感想を伝え合っている場面 ▶

～わたなべなおこ(ファシリテーター)から～

- ◆失敗も成功も同じくらい価値がある。ちゃんと失敗して、なんで失敗したかを学びとすればよい。
- ◆ワークショップだけでなく、先生が授業や休み時間などで活用しようという意識を持ってもらったからこそ、大きな変化・変容があったのだと思う。
- ◆スポーツ、キャンプ、行事、部活動・・・。多様な経験や学びの場で非認知能力は育つ。

～学級担任から～

- ◆子どもたちは、ピンチが来てもグループで何とかする力がある。もっと子どもを信じるのが大事だと思った。
- ◆ファシリテーターが「こう見えたよ」「～みたい」と子どもの動きを言語化し、意味づけていたことで、多様な見方ができ、他者意識を高めることにつながった。
- ◆「挑戦する・失敗する・振り返る」といった流れで、何かをやり遂げるといった経験は、教科学習でも活かせる。